KYOTO WAKATE NOH

流派を超えた研鑽の能

京都若手能

AMA

TAKASAGO

能楽は、日本で最初のユネスコ無形文化遺産です

第35回
能楽若手研究会 京都公演

令和8年 6月27日[土]
午前11時 開演（午前10時30分開場）

京都観世会館
KYOTO KANZE NOHPLAY THEATER
〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町44
TEL. 075-771-6114

会館HP

金剛流能	高砂（たかさご） TAKASAGO	向井 弘記
観世流舞囃子	班女（はんじょ） HANJYO	大江 広祐
大蔵流狂言	鴈礫（がんつぶて） GANTSUBUTE	山本 善之
観世流能	海士（あま） AMA	井上裕之真

入場料金（全席自由）

一般前売券	3,400円
一般当日券	3,700円
学生券	1,800円

※学生証を提示ください

4月18日[土] 発売
WEB販売あり
http://www.kyoto-kanze.jp
京都観世会館 075-771-6114
国立文楽劇場 06-6212-2531（窓口のみ）
チケットぴあ https://t.pia.jp/
e+（イープラス）https://eplus.jp/

主催＝独立行政法人 日本芸術文化振興会

第三十五回

京都若手能

能楽若手研究会 京都公演

令和八年六月二十七日(土)午前十一時始(午前十時三十分開場)
京都観世会館 〒六〇六-八三四四 京都市左京区岡崎円勝寺町四四

金剛流 能

高砂

老翁 中村 洋臣
姥 向井 弘記
住吉明神 宝生 朝哉
阿蘇神社神主 宝生 尚哉
従者 宝生 尚哉
従者 小林 努
間 井口 竜也
大鼓 河村裕一郎
小鼓 林 大輝
太鼓 井上 敬介
笛 山村 友子

観世流 舞囃子

班女

花子 大江 広祐
大鼓 渡部 諭
小鼓 林 大和
笛 左鴻 泰弘
後見 廣田 幸稔
豊嶋 晃嗣
地謡 湯川 稜
山田 伊純
宇高 徳成
惣明 貞助
谷口 雅彦
豊嶋 幸洋
金剛 龍謹
宇高 竜成

休憩二十分

大蔵流 狂言

鴈礫

大名 山本 善之
道通りの者 小斉平真路
仲裁人 茂山忠三郎
後見 山口 耕道
地謡 樹下 千慧
河村浩太郎
鷲尾世志子
大江 信行
宮本 茂樹

(一時四十分頃)

観世流 能

海士

房前 樹下 應介
海士 井上裕之真
龍女 井上裕之真
従者 有松 遼一
従者 原 陸
従者 岡 充
間 浦人 島田 洋海
大鼓 河村凜太郎
小鼓 曽和 鼓堂
太鼓 井上 敬介
笛 左鴻 泰弘
後見 林喜右衛門
杉浦 豊彦
地謡 大江 泰正
深野 貴彦
橋本 忠樹
浦部 井上 嘉介
幸裕 吉浪 壽晃
片山 伸吾
浦田 保浩

附祝言

終了予定 三時頃

主催 独立行政法人 日本芸術文化振興会

能 高砂

阿蘇神社の神主・友成は、都へのぼる途中、播磨国高砂の浦に立ち寄る。うららかな春の日ざしの中、高砂の松の木陰を白髪の老夫婦が箒で清めているのに出会う。友成が高砂の松について尋ねると、老夫婦は古今和歌集の序を引用し、高砂の松と遠く離れた摂津国住吉の松が「相生の松」と呼ばれる謂れを語る。老夫婦は、離れていても根が一つで結ばれているこの松のように、夫婦も心を通わせて睦まじく暮らすのがめでたいと説く。さらに、常緑の松の葉は和歌の「言の葉」の象徴であり、松が永遠に栄えるように和歌の道も長く繁栄し、天下泰平の世を表すと教える。やがて老夫婦は、自分たちが高砂と住吉の相生の両神であることを明かし、住吉での再会を約束して、小舟に乗り夕波の汀から沖へ消えていく。〈中入〉

友成は舟で住吉の浦へ向かうと、夜になり月下に住吉明神が現れる。明神は神楽の調べに合わせて颯爽とした神舞を舞い、千秋楽・万歳楽などのめでたい曲にのせて、聖代長久と国家安泰を祝福する。

狂言 鴈礫

ある大名が野遊山に出て下手なりにも狩りを楽しんでいると、見事な鴈が降りているのを見つけます。これを仕留めて土産にしようと張り切る大名ですが弓矢など扱った事もありません。そこへたまたま通りかかった男がその鴈を横から石礫でいとも簡単に射留めて持って行こうとします。獲物を横取りされた気分の大名は悔しさのあまり男を呼び止め、その鴈は自分が狙った時点で仕留めている自分の鴈だと言い張ります。口論となったところを仲裁に入った男がある提案をします。

能 海士

藤原不比等の世継ぎ房前の大臣は、母親が讃州志度の浦の房前という所で亡くなったと聞いて、追善を思い立って志度の浦までやってきた。そこへ一人の海士が現れ、次のように物語る。――唐の高宗の妃となった不比等の妹が氏寺である興福寺へ三種の宝を送ったところ、その中の明珠がこの沖で龍神に取られた。不比等は身をやつしてこの浦に下り、海士少女と契って一人の子をもうけ、明珠を奪い返すことが出来たらこの子を世継ぎにすると約束する。女は命懸けで海底に入り、ついに明珠を奪い返したのである。――房前は自分こそその海士の子であると名乗る。海士も自分が母の亡霊であることを明かし、回向を乞うて波の底に消え失せる。〈中入〉

房前が追善供養をして母を弔っていると、母の海士が龍女となって現れ、追善の法華経の功力で成仏できたことを喜び、経文を唱えて報謝の舞を舞うのであった。

第35回 京都若手能 能楽若手研究会 京都公演

2026年6月27日(土) 午前11時開演(午前10時30分開場)

京都観世会館 075-771-6114
http://www.kyoto-kanze.jp

4/18(土)発売 一般前売 3,400円/一般当日 3,700円/学生 1,800円

■お車の方は、会館東隣りの有料駐車場、または岡崎公園市営駐車場等をご利用ください。

地下鉄東西線 東山駅から
1番出口より徒歩約5分

JR京都駅から
・地下鉄烏丸線「国際会館ゆき」乗車「烏丸御池」駅にて地下鉄東西線「六地蔵ゆき」「浜大津ゆき」に乗り換え、「東山」駅下車
・京都駅前バスのりばA1より市バス5系統「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車、D2より86・206系統「東山仁王門」下車

四条河原町から
バスのりばEより市バス31・46・201・203系統「東山仁王門」下車

京阪三条駅から
地下鉄東西線に乗り換え、「東山」駅下車

※上演中の写真撮影・録音・録画はご遠慮ください。
※携帯電話の着信音・時計のアラーム音が鳴らないよう、あらかじめ電源をお切りください。
※都合により出演者に変更がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。
※公演中止の場合を除き、入場券払戻はできません。

日本橋 JAPAN CULTURAL EXPO 2.0

創る、育てる、未来へつなぐ
くろごちゃんファンド
☎ 03-3265-6719

表紙写真「高砂」山田伊純(撮影:上杉遥) 「海士」井上嘉介